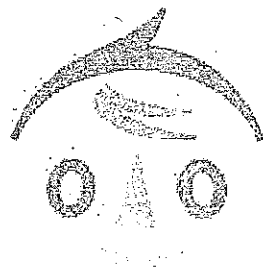


宗 像 市

グローバル人材育成プラン

(案)



むむっ!むながた。

平成27年2月

宗 像 市

目次

第1章 プラン策定の背景

- 1 社会情勢の変化
 - (1) グローバル化の進展 2
 - (2) 日本におけるグローバル人材のニーズの高まり 2
- 2 グローバル人材育成に対する本市の考え方
 - (1) 地方都市を取り巻く環境 3
 - (2) 本市の考え方 3

第2章 現状と課題

- 1 現状
 - (1) 本市を取り巻く環境とグローバル人材育成の取り組み状況 4
 - (2) 現状分析 5
- 2 課題
 - (1) 目指すべき「グローバル人材像」の設定と共有 7
 - (2) 事業効果の向上 7
 - (3) 本市の特色を生かした事業展開 7

第3章 プランの概要

- 1 プラン策定の趣旨 8
- 2 プランの位置づけ 8
- 3 プランの対象と分野 8
- 4 プランの期間 8

第4章 施策の概要

- 1 施策の体系
- 2 各基本施策の概要
 - (1) 基本施策Ⅰ：本市が目指すグローバル人材像の設定と共有 9
 - (2) 基本施策Ⅱ：人材像の実現に向けた事業効果の向上 15
 - (3) 基本施策Ⅲ：本市の特色を生かした事業展開 16

第5章 プランの進め方

- 1 推進体制 18
- 2 進行管理 18
- 3 次期プランの策定 18

第1章 プラン策定の背景

1 社会情勢の変化

(1) グローバル化の進展

今日、交通手段の発達や科学技術、特にICT技術の進歩に伴い、ヒト、モノ、カネ、そして情報が、短時間に、そして大量に国境を越えて行き来しています。

また、自由貿易協定（FTA）や経済連携協定（EPA）の締結による貿易や投資の自由化などの経済分野での国際連携の動きも加速しています。

このように、国境の意義はあいまいになるとともに、それぞれの国が互いに依存し合い、他国や国際社会の動きを無視できなくなってきました。

さらに、新興国の急激な人口増加や経済成長などに伴う食糧、エネルギーなど資源の枯渇、大気汚染、海洋汚染、森林減少や地球温暖化などの環境問題、世界平和など、単一の国や地域では解決できないさまざまな問題への対応が迫られています。

これからは、地球上のあらゆる国や民族が互いに協力し合い、物事を地球規模でとらえ、課題解決に向けて努力していくことが必要になってくるなど、グローバル化の動きはますます進展するものと考えられます。

(2) 日本におけるグローバル人材のニーズの高まり

日本の少子化、高齢化は急速に進行しており、これに伴う人口及び世帯数の減少により、国内市場の規模は縮小することが見込まれています。

さらに、東アジアを中心とする海外マーケットの急速な発展もあって、日本企業が海外進出の動きを強めるなど、日本経済は外需依存の傾向が高まっています。

このような状況の中、日本企業を中心に「グローバル人材」の確保・育成が課題となっており、「まずは“日本国内の人材の国際化”が必要」（経済産業省 産学人材育成パートナーシップ グローバル人材育成委員会「報告書 ～産学官でグローバル人材の育成を～」（2010年4月））として、その対策を講じています。

こうした動きを受けて、国では、グローバル人材育成に関する各種戦略（文部科学省 産学官連携によるグローバル人材育成推進会議「産学官によるグローバル人材の育成のための戦略」（2011年4月）、内閣官房 グローバル人材育成推進会議「グローバル人材育成戦略」（2012年6月）など）を策定するとともに、初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを推進するための「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」（文部科学省（2013年12月））を策定し、2014年度から改革に着手するなど、グローバル人材の育成を強力に推し進めています。

今後、国内におけるグローバル人材に対するニーズはますます高まるとともに、そうした人材の育成は急務になっています。

2 グローバル人材育成に対する本市の考え方

(1) 地方都市を取り巻く環境

日本創成会議・人口減少問題検討分科会「ストップ少子化・地方元気戦略」(2014年5月)によると、「地方の人口減少の最大の要因は、若者の大都市への流出」であり、「これが、日本全体の少子化に拍車をかけている」と警鐘を鳴らしています。さらに、これからの地方都市は、若者にとっていかに魅力のある地域であるかが重要であり、そのための魅力づくりが必要であると指摘しています。

(2) 本市の考え方

こうした社会経済情勢の変化や日本国内の動き、そして地方都市を取り巻く環境などを踏まえ、本市がグローバル人材育成に取り組むことは必須であり、また、急務であると考えます。

若者にとって魅力ある都市づくりという点においては、本市は既に、小中一貫教育の推進や各種体験事業の実施など、教育環境の充実を図るとともに、きめの細かい子育て支援の実施や、家賃補助などの定住施策の推進など、子育て世代を市内に誘導し、定住してもらうためのさまざまな取り組みを展開してきました。また、これらの取り組みの中で、グローバル人材の育成につながる事業も既に実施しています。

本市では、グローバル人材育成事業をさらに発展させ、市全体としてこれに取り組む、着実に成果を上げていくため、2015年度からスタートする第二次宗像市総合計画において「グローバル人材育成と国際交流の推進」を施策の一つとして掲げ、推進していくこととしました。

第二次宗像市総合計画より抜粋

【施策名】

グローバル人材の育成と国際交流の推進

【施策概要】

グローバル化が進展する中、自治体においても世界に目を向け、将来様々な分野で中核的な役割を果たしていくグローバル人材を育成していくことが必要です。

語学力やコミュニケーション力を身につけるだけでなく、自国の文化を学び、異国の文化に触れる機会の充実や国際交流の推進を図りながら、市全体でこれからのグローバル化に対応した取り組みを進めていきます。

【取組方針】

日本や宗像の歴史、文化等を学び、自分自身の考えを持ち、主張できることに加え、異なる意見や価値観を受け入れる受容力、コミュニケーション力などを育む事業を展開していきます。

学校教育においては、小中一貫教育を通して、中学校外国語科への円滑な移行を図ることができるように、小学校の外国語活動を充実させていきます。

また、異文化や語学を年齢を問わず学ぶことができるように、市内3大学等の教育資源を生かした取組みや地域と協働した外国語に親しむ場づくりを行い、「学びきっかけ」と「学びたいときに学べる場」を広く市民に提供していきます。

第2章 現状と課題

1 現状

(1) 本市を取り巻く環境とグローバル人材育成の取り組み状況

本市には、3つの大学、2つの高校があり、恵まれた教育環境のなかで、小中一貫教育にいち早く取り組むなど、教育政策には特に力を入れてきました。

さらに、高校生向けのサマースクール「日本の次世代リーダー養成塾」の開催地として、全国から意欲にあふれた高校生たちを10年以上にわたって受け入れるなど、これまで「教育に熱心なまち」として認知されてきました。

グローバル人材育成に関連するものとしては、長年にわたり実施してきたニュージーランドへの少年少女海外派遣事業をはじめ、民間企業と連携した新たな派遣研修事業や育成プログラムなど、さまざまな事業を展開しているほか、大学、民間企業、コミュニティなどにおいても、独自の国際交流活動が盛んに行われています。

【本市が取り組むグローバル人材育成関連の事業】

対象者	事業名	内容	担当部署※	連携先
小4～6年生	国際交流キャンプ	同世代の世界の子どもたちとのふれあいを通して国際交流を体験するプログラム	秘書政策課	アジア太平洋子ども会議・イン福岡
小5～6年生	イングリッシュ・サマーキャンプ	外国人スタッフと英語だけでコミュニケーションを図りながら、英語への興味・関心を高める	子ども育成課	—
小5～中学生	ALT派遣事業	市立小・中学校および地域に語学指導員(ALT)を派遣し、「英語が使える宗像の子」の育成を図る	教育政策課	—
小6～中学生	少年少女海外派遣研修(ニュージーランド)	海外でのホームステイや学校交流を通して、国際的視野をもった子どもの育成を図る	子ども育成課	—
中学生	スピーチコンテスト(中学校の部)	英語を使って、自分の思いを堂々と伝えることができ、世界へ目を向けることのできる宗像の子どもの育成を図る	教育政策課	—
中学生	むなかたの次世代リーダー養成塾	宗像から将来リーダーとなる人材を発掘・育成するための、合宿形式の塾	コミュニティ・協働推進課	日本の次世代リーダー養成塾
中学生	宗像国際育成プログラム	環境問題をテーマに、講義や議論を通して、青少年の育成を目指すプログラム	秘書政策課	宗像国際環境100人会議実行委員会
高校生	グローバル人材育成プログラム(カナダ)	海外での生活などを通して、他国の歴史・文化への理解を深め、コミュニケーション能力向上を図る	子ども育成課	宮若市／トヨタ自動車九州
高校生	日本の次世代リーダー養成塾	全国の志の高い高校生を対象に、日本だけでなく、世界を舞台に挑戦する人材の育成を目指したサマースクール	コミュニティ・協働推進課	日本の次世代リーダー養成塾
高校生	グローバルブリッジリーダー・トレーニングキャンプ	同世代の世界の若者との協働体験を通じた、リーダー育成のための体験プログラム	秘書政策課	アジア太平洋子ども会議・イン福岡
大学生	宗像国際環境100人会議	国内外の有識者・企業人・大学生が環境問題について議論する会議	秘書政策課	宗像国際環境100人会議実行委員会

※プラン策定時点

(2) 現状分析

市の取り組みだけでなく、学校、大学、民間企業、コミュニティなどにおける現状も含め、本市のグローバル人材育成の現状を総合的に把握するために、外部ヒヤリングを実施しました。その結果を踏まえ、現状分析を行いました。

<p>Strength <強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 既に各種事業を行っている 教育に熱心なまちとして認知されている 民間企業との連携・協働が進んでいる グローバル人材育成のための人材を採用した九州オルレ認定、世界遺産登録の動きなど、外国人観光客増加の可能性はある 	<p>Opportunity <機会></p> <ul style="list-style-type: none"> 国においてもグローバル人材育成の動きがある 子育て・教育に対する関心が高まっている コミュニティや市民の活動が活発である 市民活動団体等が草の根的活動を行っている 恒常的に世界中の人が訪れる施設(グローバルアリーナ)がある
<p>Weakness <弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 人材像が定義・共有できていない 各課・各事業間の連携・調整が機能していない 民間企業との連携が場当たりのになっている 既存事業の効果が把握できていない 既存事業の参加者をうまくフォローできていない 既存事業の成果を全体に広げられていない 対外的に取り組みをうまくアピールできていない 外国人観光客を受け入れる体制が不十分 	<p>Threat <脅威></p> <ul style="list-style-type: none"> 若者の内向き志向が広がっている 他の自治体でも同種の取り組みが始まっている 領土問題などから、中国や韓国との関係が悪化している 世界における日本のプレゼンスが低下している 都市間競争が激化している

分析の結果、本市は以下のような状況にあります。

① より効果的かつ持続的な事業展開が望めます

本市は、すでにグローバル人材の育成を目的とした、さまざまな事業に取り組んでいますが、事業の担当部署が散在しており、全庁的なコーディネートができていないことから、各事業が個別的、散発的で、事業間のつながりや広がり弱いものとなっています。

また、幅広い年代を対象とした事業展開や、事業参加者が継続した学びや活動ができる場の提供ができていないため、事業効果の拡張性や持続性に乏しい状況です。

こうしたことから、各事業の効果が見えづらく、結果的にグローバル人材育成の取り組みの対外的なアピールが弱いものとなっています。

② 産学官民の連携や協働により、大きな相乗効果が期待できます

市内3大学には、年間約90人の留学生が通っており、地域コミュニティセンターでのボランティアや交流活動などを行っています。

また、多目的スポーツ総合施設のグローバルアリーナには、国際大会などの関係で来宗する外国人が年間約5,000人(延べ数)おり、学校訪問を行っている外国人団体もあります。

さらに、独自の国際交流を展開している学校や市民活動団体、コミュニティセンターなどで子どもたちに英語を教える活動を行う講師など、国際交流やグローバル人材の育成に関心や理解が高い市民も数多くいます。

行政の中で、産学官民のニーズを理解し、それぞれの活動を支援およびコーディネートする役割を担う窓口があれば、連携や協働を強化し、より効果の高い事業展開が可能になるだけでなく、大きな相乗効果が期待できます。

③ グローバル人材の育成に恵まれた環境を有しています

豊かな自然に囲まれた本市は、先人が残してきた貴重な歴史や文化遺産を大切に受け継いできました。

また、古くから「宗像卵に宗像教員」と言われるほど教育に熱心なまちで、出光佐三氏のように世界で活躍した偉人も輩出しています。

最近では、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録に向けた動き、韓国・済州島発祥のトレッキングコースの九州版である九州オルレ「宗像・大島コース」の開設、世界から研究者や企業家らが訪れる国際会議「宗像国際環境 100 人会議」の開催など、外国人の観光客や来宗者の増加が予想されます。

このように、本市はグローバル人材の育成に生かせる環境や要素を多く有しており、非常にポテンシャルの高い都市であるといえます。

2 課題

こうした現状から、本市は以下の3つの課題に取り組む必要があります。

(1) 目指すべき「グローバル人材像」の設定と共有

市の取り組みだけではなく、本市全体のグローバル人材育成の効果を高め、つながりや広がりをも強めていくためには、本市のグローバル人材育成の目標となる、目指すべき「グローバル人材像」を明らかにする必要があります。設定した育成目標については、行政だけではなく、産学官民で共有することで、連携した人材育成に取り組むことができます。

また、絶え間ないグローバル人材育成を実現するためには、さまざまな年代を対象とした幅広い事業展開を行うことも必要です。

(2) 事業効果の向上

学校においては、外国語教育によるコミュニケーション能力だけでなく、授業や学校生活の中でも、自国の歴史や文化、国際理解などといったグローバル人材の基盤となる幅広い知識を身に付けています。

また、既存のグローバル人材育成事業の参加者は、貴重な体験や知識を得たことで世界への視野を拓けています。

そのような知識や経験をグローバル人材に必要な能力に発展させていくためには、グローバル化を意識した学校教育の充実や、継続した学びや活動ができる仕組みづくりが必要であると考えます。

さらに、普段の生活の中で自然に、グローバル化の波や世界を身近に感じるために、本市自体も目に見えるグローバル化を推進する必要があります。

(3) 本市の特色を生かした事業展開

本市には、海、山、川などの豊かな自然があり、幅広い体験活動が可能だけでなく、これらの資源を守るために、市民を中心とした環境保全活動も活発に行われています。

また、多くの文化遺産と古くから守られている歴史や伝統があり、宗像独自の行事や祭りを体験する機会も多くあります。

今後はさらに、外国人の滞在者や観光客の増加が期待されており、地元にいながらグローバルな体験や活動につなげられる恵まれた環境にあります。

このような本市の強みを、グローバル人材育成に活用するためには、行政がコーディネーターの役割を担う窓口を設置し、産学官民の連携や協働による「宗像だからこそできる」、「宗像ならではの」事業展開を推進する必要があります。

第3章 プランの概要

1 プラン策定の趣旨

本市が目指すグローバル人材像を掲げ、産学官民で連携や協働を強化しながら本市の特色を生かした人材育成に取り組むことで、宗像ならではのグローバル人材を多く輩出することを目指します。

さらに、その取り組みを広くアピールし、「子育て世代に選ばれるまち」としての本市のブランド価値向上につなげます。

2 プランの位置づけ

本プランは、「第二次宗像市総合計画」を上位計画とし、総合計画を補完する個別計画として位置づけ、「宗像市学校教育基本計画」、「宗像市子ども・子育て支援事業計画」、「宗像市市民活動推進プラン」など、関連する分野別計画や指針との整合性を図りながら、課題の解決に向けた施策や事業など、具体的な取り組みを総合的かつ体系的に示しています。

3 プランの対象と分野

本プランの実現のため、立場や年代を問わず、あらゆる市民を対象とした、絶え間ない取り組みの展開を図ります。

また、学校教育、社会教育、生涯学習といった従来の枠組みを超えて、幅広い分野での取り組みを推進します。

4 プランの期間

「第二次宗像市総合計画」との整合性を図る意味から、本プランの期間は、平成27年度からの5年間とし、プランの目標年次を平成31年度とします。

また、プラン期間中であっても、社会情勢の大きな変化や市民のさまざまなニーズの変化などを踏まえながら、必要に応じて本プランの見直しを行っていきます。

第4章 施策の概要

1 施策の体系

第2章で掲げた3つの課題に取り組むため、次の3つの基本施策を設定します。

- 基本施策Ⅰ：本市が目指すグローバル人材像の設定と共有
- 基本施策Ⅱ：人材像の実現に向けた事業効果の向上
- 基本施策Ⅲ：本市の特色を生かした事業展開

さらに、基本施策ごとに取り組みの方向性を明らかにし、可能なものについては具体例を示します。

2 各基本施策の概要

(1) 基本施策Ⅰ：本市が目指すグローバル人材像の設定と共有

① 人材像の設定

本市のグローバル人材育成の方向性や目標を明確にするために、本市が目指すグローバル人材像を次のとおり設定します。

お互いを尊重し、そうそう力を持って、世界とコミュニケーションができる

【人材像に基づく育成の方向性】

このような人材を育成するため、具体的に以下のような能力を養っていく必要があると考えます。

■「お互いを尊重する」ために

- ◆ 自分自身や自国の考えを持ち、相手に主張することができる
- ◆ 世界に目を向け、相手や他国の異なる意見、文化、価値観を受け入れることができる
- ◆ 自分を尊重し、相手を尊重し、お互いに譲り合い、助け合うことができる

■「そうそう力を持つ」ために

- ◆ 世界のさまざまなことに興味を持ち、未来に夢を描くことができる
- ◆ チャレンジ精神で、失敗を恐れずに、新しいものを生み出すことができる
- ◆ 宗像の歴史や文化に興味を持ち、理解し、発信することができる

■「世界とコミュニケーションができる」ために

- ◆ 世界中の人と直接コミュニケーションができる
- ◆ 自分の意見を相手に論理的に説明することができる
- ◆ 積極的に議論に参加し、プレゼンテーションやディスカッションができる

【人材像に基づく育成の取り組み方針】

このような能力を養うことで、本市が目指すグローバル人材が育成できるように、新規事業の検討や既存事業の拡充、実行体制などの環境整備を行います。

特に、「宗像国際環境 100 人会議」や「宗像国際育成プログラム」は、宗像の自然や文化などの恵まれた環境を背景に、産学官民がしっかりと連携をしながらさまざまな国や立場の人と意見交換を行うなど、従来とは異なるアプローチによる、まさに人材像の実現を図る画期的な取り組みとなっています。

このような宗像ならではの取り組みを進めていきます。

② 発達段階別目標の設定

本プランは、あらゆる市民を対象としますが、成長による変化が著しい発達段階においては、それぞれの特長を十分に理解し、年代に応じた能力や資質を伸ばしていく必要があります。

そこで、特に幼児から大学生までの発達段階においては、段階別の育成目標を設定し、それぞれの目標を達成できるような取り組みを進めます。

◆◆◆ 幼児 ◆◆◆

【育成目標】

<p>お互いを尊重する</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思っていることを相手に伝え、相手の思っていることに気づく 友達の良さに気づく 友達と仲良く、助け合いながら遊ぶ 	<p>そうぞう力を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまなことを試したり、「なぜ？」と疑問を持ったりできる 失敗を怖がらず、何でも試してみようとする好奇心を持っている 身近な地域や地域の人々に親しみ、愛着をもつ 	<p>世界とコミュニケーションできる</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国に興味を持ち、好きになる 自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう 進んで話し合うことができる
--	---	---

【育成の方向性】

幼児は、人格形成の基礎を培う重要な時期であることから、身近な人を思いやる、失敗を恐れない、いろいろなことに興味をもつ、などの心を育みます。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
大学生や留学生の保育所・幼稚園などへの派遣	新規	留学生や大学生との交流を通じて、楽しみながら異文化体験ができる場の提供
外国人団体の保育所・幼稚園などへの訪問サポート	新規	外国人団体の保育所・幼稚園などへの訪問を支援し、異文化への興味を高める場の提供

◆◆◆ 小学生 ◆◆◆

小学生は、学年によって身体の成長や知識、興味、関心に大きな差があります。このため、環境や状況に応じて2段階に分けた育成目標を設定します。

～小学生（第1ステージ）～

【育成目標】

お互いを尊重する	そうそう力を持つ	世界とコミュニケーションできる
<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見がみんなと違っていてもよいと思える 世界にはさまざまな国があり、固有の言語や文化があることを知る 自分や相手の良いところを見つけ、伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな職業を知り、それぞれの職業がどのように地域や社会に役立っているか理解できる 失敗から学び、次はどうすればいいのか前向きに考えることができる 宗像の文化財や伝統行事に対する誇りと愛着をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語を聞いて、簡単な単語や文章を使ってコミュニケーションを図ることができる 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら、わかりやすく話すことができる 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うことができる

【育成の方向性】

第1ステージでは、自分と異なる考えをもつ人がいることを理解した上で、世界の国にはそれぞれの文化があることを学び、郷土の歴史や文化の大切さを認識します。また、簡単な外国語の単語や文章を使ったコミュニケーションの楽しさを味わいます。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
学校におけるふるさと学習の展開	拡充	身近な人、もの、ことへ直接かかわる活動や体験を通して、地域の良さに気づき、愛着をもつ
学校におけるキャリア学習の展開	拡充	身近な社会、自然と繰り返しかかわる中で、自分の良さや可能性に気づき、将来の夢をふくらませる
グローバルアリーナ滞在団体の学校訪問	拡充	グローバルアリーナに滞在する外国人団体の学校訪問を支援し、相互の発表や交流を通じて異文化や自国の文化を学ぶ場の提供
大学生や留学生の派遣	新規	大学生や留学生を学校やコミュニティに派遣し、国際交流や英語の楽しさを伝える

～小学生（第2ステージ）～

【育成目標】

<p>お互いを尊重する</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見の根拠を説明することができる 国や文化によってさまざまな意見や価値観があることを知る 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする 	<p>そうぞう力を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の個性や好きな（得意な）分野を知り、自分の将来に繋げて考えることができる 自ら課題を見つけ、その解決に向けてチャレンジすることができる 宗像や日本の発展に尽くした先人や文化遺産を知り、歴史や伝統を大切にする 	<p>世界とコミュニケーションできる</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を使って、友達に質問したり、質問に答えたりすることができる 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる 発言には責任が伴うことも理解した上で、自分の意見を要点を明確にして伝えることができる
--	---	---

【育成の方向性】

第2ステージでは、自分の意見を明確に相手に伝えるだけではなく、その発言には責任が伴うことも学びます。学校の外国語活動で学んだことを、実際の状況に合わせて使う機会を増やすことで、伝わる嬉しさを感じ、外国語への興味を高めます。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
学校における国際理解学習の展開	拡充	語学指導員(ALT)や留学生など、身近にいる外国人の母国の生活や文化について学び、日本との違いやその背景について理解する
学校におけるふるさと学習の展開	拡充	校区の伝統、文化、行事、生活習慣などを調べる活動を通して、その良さに気づき、愛着をもつ
学校におけるキャリア学習の展開	拡充	地域や学校のためのボランティア活動を通して、自分の生活や行動、生き方について考え、自信を高める
ホームステイ受け入れ	新規	同世代の子どもと一緒に生活する中で、学んだ外国語を自分自身で考えながら使える場の提供

◆◆◆ 中学生 ◆◆◆

【育成目標】

お互いを尊重する	そうぞう力を持つ	世界とコミュニケーションできる
<ul style="list-style-type: none"> 日本の良さを知り、誇りに思い、世界に伝えていきたいと思う 世界にはさまざまな異なる意見、文化、価値観があることを理解することができる 自分の意見とは異なる意見を受け止め、それらを超える新たな解決策を模索することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のなりたい職業を考え、その実現のために何が必要か考えることができる いろいろな知識や知恵を得て、それらを活用した解決策を考えることができる 宗像や日本の歴史・文化・自然の価値を理解し、これらを将来にわたって守っていこうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使って身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をするができる 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うことができる

【育成の方向性】

中学生では、自分の将来を具体的に描き、幅広い知識や情報を増やしなが、課題を解決していく能力を養います。また、学校で学んだ英語を活かし、人前で発表などを行う機会を増やすことで、英語を使うことへの抵抗を少なくしていきます。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
学校における国際理解学習の展開	拡充	さまざまな国や地域の生活や文化について学び、日本との違いやその背景について理解する
学校におけるふるさと学習の展開	拡充	地域の伝統、文化、行事、生活習慣などを調べ、主体的に参画し、地域に対する誇りと愛着を高める
学校におけるキャリア学習の展開	拡充	職業体験活動やボランティア活動などを通して、学ぶ意味や自分の将来、人生について考える
少年少女海外派遣研修(ニュージーランド)	拡充	郷土について学び、自分の言葉を使って英語で伝える内容を事業に組み込む

◆◆◆ 高校生 ◆◆◆

【育成目標】

お互いを尊重する	そうそう力を持つ	世界とコミュニケーションできる
<ul style="list-style-type: none"> 日本の立場や考え方を理解した上で、自分の考えや意見を持つことができる 世界の諸問題について関心を持ち、情報を収集し、解決策を考えることができる 譲りあいや助けあいを通じて、自分が地域や社会にいかに関与できるか考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のなりたい職業を考え、その実現のために必要なことを理解し、行動に移すことができる いろいろな知識や知恵を踏まえ、自ら新たな解決策を考えることができる 宗像や日本の歴史・文化・自然を守るにあたっての課題を整理し、解決策を提示することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使って幅広い話題について内容を理解し、考えを伝え、やりとりができる 自分の考えの根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べるができる 課題解決や考えの深化のため、多様な相手との議論を通じて、その場に合った適切なコミュニケーションができる

【育成の方向性】

高校生では、世界で起きている問題などを学び、それに対する自分の意見を明確に持ち、多様な相手と議論をする力を養っていきます。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
グローバルブリッジ リーダートレーニング キャンプ	拡充	市独自の事前・事後研修を充実させ、世界の諸問題に対する自分の考えや表現力を深める

◆◆◆ 大学生 ◆◆◆

【育成目標】

お互いを尊重する	そうそう力を持つ	世界とコミュニケーションできる
<ul style="list-style-type: none"> 世界の中の日本の立場を理解し、自分自身の考えや意見を持ち、相手に主張できる 世界の諸問題について、表面的ではなく当事者らの状況など本質を理解し、解決策を考えることができる 譲りあいや助けあいを将来の職業と結び付け、地域や社会にいかに関与できるか考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 職業などを通じて、自分が地域や社会をより良い方向に導く未来を描くことができる 世界や社会に貢献できるような斬新なアイデアを生み出すことができる 宗像や日本の歴史・文化・自然を守るための解決策を示し、自ら行動に移すとともに、人々を動かすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使って、プレゼンテーションやディスカッションをすることができる 相手の立場や考え方、世界情勢なども踏まえ、自分の考えや意見を適切に表現することができる リーダーシップやフォローシップを発揮しながら、議論の価値や効果を高めることができる

【育成の方向性】

大学生では、自分や日本が世界においてどの立場に置かれているかを知り、グローバル社会の中で何をすべきか考え、行動に移すことができる力を養います。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
大学生が主体となるグローバル化推進活動の支援	新規	学生が中心となって企画し、グローバル化を推進する取り組みの支援
宗像国際環境100人会議	拡充	会議での学びを生かし、課題解決に向けた行動や発表ができる場の提供

③ 人材像の共有

行政だけでなく、グローバル人材育成に関わる学校、コミュニティ、民間企業、市民などが共通の目標に向けた事業展開を行うことで、より効果的な人材育成を行うことができると考えます。

このため、本市が目指すグローバル人材像を、産学官民で広く共有します。

(2) 基本施策Ⅱ：人物像の実現に向けた事業効果の向上

① 小中学校における外国語教育の強化

小学校および中学校の外国語教育においては、小中一貫教育を基軸とした円滑な接続や、効果的な語学指導員（ALT）の活用を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるとともに、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく身に付けた「英語が使える宗像の子」の育成を図ります。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
外国語教育における学びの一貫	拡充	小中学校間の連携を強化し、外国語活動から外国語科への円滑な接続を目指す
語学指導員(ALT)を活用した外国語活動や外国語科授業の展開	拡充	外国語活動や外国語科の授業に宗像の文化、歴史、自然など身近な題材を取り入れた授業を展開
外国語教育の充実に向けた環境づくり	拡充	効果的な授業の実践に向けて、教職員を対象とした研修会の実施や、研究成果共有の強化

② OB・OGの活動支援

事業のOB・OGが、そこで得た経験と知識を生かした活動や、継続した学びができるような支援を行います。

また、事業の成果をより多くの方に届けられるように、OB・OGが発表や報告を行う機会を創出します。事業効果が参加者にとどまらず、拡張性や持続性のある事業展開を目指します。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
OB・OG組織の支援	新規	情報交換や活動を拡充、継続するための受け皿となる組織の設立、運営、活動などの支援
体験報告会の充実	拡充	複数事業の合同開催、地域や学校での開催など、報告機会を充実

③ 日常生活の中で実感できるグローバル化

市民が日常生活の中でグローバル化を実感するためには、直接的な育成事業に限らず、外国人を受け入れるためのインフラの整備やサービスの充実などもあわせて進めていく必要があると考えます。

外国人観光客の増加や世界遺産登録への動きも見据え、こうした取り組みを推進していきます。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
外国人観光客への対応	新規	留学生などとの連携による外国語パンフレットの作成や観光案内板の設置
在住外国人市民サポートの充実	拡充	外国人市民の日常生活サポートの充実（ゴミの出し方、防災マップなどの外国語版作成）
ホームビジットやホームステイの受け入れ	拡充	留学生や外国人滞在者のホームビジットやホームステイ受け入れ体制の構築

(3) 基本施策Ⅲ: 本市の特色を生かした事業展開

① 自然環境、歴史、文化を生かした事業展開

海や山に囲まれ、大島や地島などの島々を含む、豊かな自然に恵まれている本市では、自然を生かした体験活動を通して豊かな人間性や自ら考える力などの生きる力の基盤を形成するだけでなく、ボランティア活動をとおして、持続可能な社会の実現に必要な環境保全の取り組みも身近で学ぶことができます。

また、地域の行事や祭りに参加することで、古くから受け継がれている貴重な歴史、文化、伝統を守ることの大切さを感じることもできます。

これらの資源を生かし、グローバル人材に必要な環境保全の大切さや郷土への誇りを育む事業を展開していきます。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
むなかたガイドの確保、育成	拡充	宗像の文化遺産や観光地について学び、外国人に紹介するガイドの確保、育成
留学生や外国人と協働で行う地域ボランティア活動	新規	ボランティア活動を通じ、留学生や外国人と地域の関係構築や双方の課題解決等を実施
留学生や外国人の地域行事や祭りへの参加の促進	新規	外国人に宗像を知ってもらおうと同時に市民の郷土への誇りも育む

② 産学官民の連携強化

行政側の専門窓口を設置し、産学官民の連携強化を図ります。本市の事業効果を高めるだけでなく、双方のニーズに合わせたコーディネートを行い、幅広い事業展開を図ります。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
協議会の設立・運営	新規	産学官民の連携の仕組みを構築
派遣事業	新規	人材登録システムを構築し、市民、幼稚園、保育園、学校などのニーズに応じて、講師の派遣や、交流の場を提供
留学生や外国人と協働で行う地域ボランティア活動（再掲）	新規	ボランティア活動を通じ、留学生や外国人と地域の関係構築や双方の課題解決等を実施
スポーツ交流会の開催	新規	民間企業所属の外国人選手やスポーツ施設との連携によるスポーツを通じた地域・学校交流

③ 対外的なアピールの強化

「宗像だからできる」、「宗像ならではの」グローバル人材の育成を推進することで、本市の取り組みを対外的にアピールし、本市のブランド価値向上につなげます。

【具体的な取り組み例】

取り組み	新規/拡充	内容
OB・OG組織との連携による交流イベントの開催	新規	事業参加者の学びを継続しつつ本市のアピールにつながるようなイベントの開催

第5章 プランの進め方

1 推進体制

宗像の特色を生かしたグローバル人材育成を推進するためには、その中心となる体制が不可欠です。

新設される教育子ども部子ども育成課グローバル人材育成係が中心となり、全庁的なコーディネートを行うことで、事業間のつながりや拡がりを強化します。

また、学校、大学、民間企業、コミュニティ、市民とも積極的に連携・協力し、プランを推進します。

2 進行管理

本プランに掲げる施策を着実に実行していくため、定期的に進行管理を行うこととします。進行管理は、前述の教育子ども部子ども育成課グローバル人材育成係が担当し、各施策の進捗状況を点検するとともに、庁内をはじめ、学校、大学、民間企業、コミュニティ、市民とも共有し、必要に応じて意見交換等を行いながら、進めます。

3 次期プランの策定

本プラン実施期間の最終年度である平成31年度には、第三者を含めて検証のうえ、第二次総合計画の後期計画に合わせて見直しを行い、次期プランを策定します。

宗像市のグローバル人材像の実現に向けた発達段階別目標



宗像市が抱くグローバル人材像

人画像	幼児の目標	小学生の目標	中学生の目標	高校生の目標	大学生の目標
お互いを尊重	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の思っていることを相手に伝え、相手の思っていることに気づく ◆ 友達の良い姿に気づく ◆ 友達と仲良く、助け合いながら遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の考えや意見をみんなと違っていてもよいと思える ◆ 世界にはさまざまな国があり、固有の言語や文化があることを知る ◆ 自分や相手の良いところを見分け、伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本の良さを知り、誇りに思い、世界に伝えていきたいと思う ◆ 世界にはさまざまな異なる意見、文化、価値観があることを理解することができる ◆ 自分の意見とは異なる意見を受け止め、それらを超越する新たな解決策を提案することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本の立場や考え方を理解した上で、自分の考えや意見を持つことができる ◆ 世界の諸問題について関心を持ち、情報を収集し、解決策を考えることができる ◆ 譲りあいや助け合いを通して、自分が地域や社会にいかに関与できるか考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 世界の中の日本の立場を理解し、自分自身の考えや意見を持ち、相手に主張できる ◆ 世界の諸問題について、表面的ではなく当事者らの状況など本質を理解し、解決策を考えられる ◆ 譲りあいや助け合いを得るべき職業と結び付け、地域や社会にいかに関与できるか考えられる
そうぞう力	<ul style="list-style-type: none"> ◆ さまざまなことを試し、「なぜ?」と疑問を持ったりできる ◆ 失敗を怖がらず、何でも試してみようとする好奇心を持っている ◆ 身近な地域や地域の人々に親しみ、愛着をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ さまざまな職業を知り、それぞれの職業がどのような地域や社会に役立っているかを理解できる ◆ 失敗から学び、次にどうすればいいのかが前向きに考えられる ◆ 宗像の文化財や伝統行事に対する誇りと愛着をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分のなりたいたい職業を考え、その実現のために必要なことを理解し、行動に移すことができる ◆ いろいろな知識や知恵を踏まえ、自ら新たな解決策を考えられる ◆ 宗像や日本の歴史・文化・自然を守るにあたっての課題を整理し、解決策を提示することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 職業などを通じて、自分が地域や社会をより良い方向に導く未来を描くことができる ◆ 世界や社会に貢献できるような斬新なアイデアを生み出すことができる ◆ 宗像や日本の歴史・文化・自然を守るための解決策を示し、自ら行動に移すとともに、人々を動かすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 英語などを使って、プレゼンテーションやディスカッションをすることができる ◆ 相手の立場や考え方を、世界情勢なども踏まえ、自分の考えや意見を適切に表明することができる ◆ リーダーシップやアフロワウンシップを発揮しながら、議論の価値や効果を高めることができる
世界とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外国に興味を持ち、好きになる ◆ 自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう ◆ 進んで話し合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 英語を使って、友達に質問したり、質問に答えたりすることができる ◆ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる ◆ 発音には責任が伴うことも理解した上で、自分の意見を要点を明確にして伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 英語を使って身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる ◆ 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話を作ることができる ◆ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 英語を使って幅広い話題について内容を理解し、考えを伝え、やりとりができる ◆ 自分の考えの根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べることができる ◆ 課題解決や考えの深化のため、多様な相手との議論を通じて、その場に応じた適切なコミュニケーションができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 英語を使って、プレゼンテーションやディスカッションをすることができる ◆ 相手の立場や考え方を、世界情勢なども踏まえ、自分の考えや意見を適切に表明することができる ◆ リーダーシップやアフロワウンシップを発揮しながら、議論の価値や効果を高めることができる